



過去最高のYEGが参加

# 全国でブロック大会を開催!

九州をスタートした全国商工会議所青年部連合会の9ブロック大会は、東北で幕を閉じました。全国各地で、YEGの仲間は交流し、話し、明日の地域社会を語り合いました。21世紀はもう目前、YEG連携の真価が問われるのはこれからです。

## 「北海道独立論」に盛り上がる

北海道ブロック●英幌大会



講演会由緒路を辿るに  
のちも英幌で有名な英幌  
町で、10月9日午後7時半  
北海道ブロック大会が開催  
されました。

北海道の道東に位置する  
英幌には道内でも、海外  
37名の本業関係者が参加  
37名の参加をいいただき  
ました。

英幌商工大会実行委員会  
の代表として、第1部の分  
科会ではパベル・スワック  
ン方式をとり、パネラーと  
しては青森会長、札幌道  
青森会長、高橋英幌会長、  
ジョージ・キートンと英幌  
親善会会長が参加し、生  
きかたをかけた討論を、き  
ずずに熱い討論をくり広  
げられました。

第2部の全体会議では、  
北海道会長に平成7年度の  
のスコアカードが発表し、

北海道のYをとり、道政の  
し、いただいた道政委員  
青森大会の大会の報告  
中も英幌の報告が青年部  
の目標にありがらうとい  
います。

## 人と物の交流 東北から世界へ

東北ブロック●八戸大会



10月21日、東北ブロッ  
ク大会が青森県八戸市で開催  
されました。

14団体を迎えた同大会に  
は、大会史上最大の来賓  
7より次が参加、会場は八  
戸市会館は満席の盛況を造  
り、主催者として、英幌を造  
めた八戸青年部メンバーは  
1年以内の来賓が参加され  
るの喜びを述べたという感  
じです。

全体会議では、英幌、  
英幌、ジョージ・キートンと  
りました。

10月21日、東北ブロッ  
ク大会が青森県八戸市で開催  
されました。

14団体を迎えた同大会に  
は、大会史上最大の来賓  
7より次が参加、会場は八  
戸市会館は満席の盛況を造  
り、主催者として、英幌を造  
めた八戸青年部メンバーは  
1年以内の来賓が参加され  
るの喜びを述べたという感  
じです。

全体会議では、英幌、  
英幌、ジョージ・キートンと  
りました。

## 21世紀に パトンタッチ!!

北陸信越ブロック●七尾大会

10月29日から30日にかけ  
て、北陸信越地区ブロック  
大会を、ちよさなという響  
けを借りて、尾市和野青年  
部会会館で開催させてもら  
いました。

休館設備では、前年の電  
田大会を参考に、シム

な大会にすべきか、英幌  
論を述べましたが、結果  
して七尾に大会をしよう  
という事になり、実行委  
員会をつくって作りあげて  
まいりました。

キョウチクトウをコア  
タスという決めるにも数  
回の会議を重ねました。

これは、引継ぎを背負わな  
ければならない時代に我々は  
パトンを着実に手渡さな  
ければならない状況である  
と認識し、本大会を通じて  
認識する機会にした。この  
いふためのものです。

当日は大会式典の後、大  
阪大学大教授、全野球平  
本生の基調講演を受けて、  
4団体の経済人代表による  
パネルディスカッションを  
行

## 13日金、静岡で 何かが起こった

関東ブロック●静岡大会



10月13日、第15回関東ブ  
ロック大会静岡大会が、江  
原の舞鶴このままとい  
いながら、本大会」の大会  
「のよう」人、ブロック内外  
から参加者が参加し静岡  
市民会館前で開催されま  
した。

第1部式典では、キレセニ  
の後、北陸信越の講演を入  
れたりマシクンという市  
会会長、静岡YEGを登  
壇したり、つくりかえの一  
歩が歩かれました。

第2部定例会議では、「文  
化エネルギー」が初を基盤に  
変える」と、と題して、「日」  
国総務省文化政策課長  
鈴木忠志氏が文化と文明の  
違い、出づけては地域に  
ある個性が個性エネルギー  
を持つ人材を育てなければ  
いけない」と意外な切り口  
から21世紀への覚悟を述べ  
くれました。

第3部ミニスピーチでは、  
「エネルギー」では21世紀の  
エネルギーは、1日の分科会  
で取り上げ、地産地消を  
使った文化を創り、静岡は  
ては、見えて、仕事で  
「エネルギー」です。

第4部ミニスピーチでは、  
「エネルギー」は、1日、日  
本青年部連合会、第1部  
の発表は、加藤、第2部  
がそれぞれに発表させて参  
る。静岡は、静岡で、  
うまく説明できなかったが  
静岡で何かが起こった  
がした大会でした。



東海ブロック●瀬戸大会

ロクロ、  
絵つけ体験も

平成7年9月15日(金) 瀬戸  
日(正午より瀬戸市文化セ  
ンターで開催しました。  
今回の大会では、各単会  
のご協力により登録総数が  
7,300名になりました。ア  
ロクロ大会の内容は次の  
とおりです。

- 第1分科会  
本事業を語って(研究会)
- 第2分科会  
陶芸のこころ
- 第3分科会  
セラミックの歴史と未来
- 第4分科会  
セラミックの体験コー  
ナードを行いました。
- 第5分科会  
アロクロ体験会(ビンネス  
交流プラザ)



関空への  
熱い期待



9月9日(土) 秋晴れに  
青森県 第13回国産大流通所  
青年部近畿ブロック大会が、  
大阪府行田市にて行われ、ア  
イクオ・Y&G 21世紀戦略  
の経営と関係性をテーマとし  
ては、高橋正三氏(青森県青  
年部)の基調講演が行われ、  
その中で「国産大流通所を  
中心とした流通戦略」が  
テーマに、各単会代表者が  
意見を述べた。また、Y&G  
の「21世紀戦略」について  
は、高橋氏が「国産大流通  
所を軸とした流通戦略」を  
テーマに、各単会代表者が  
意見を述べた。

近畿ブロック●高石大会

9月10日(日) 秋晴れに  
青森県 第13回国産大流通所  
青年部近畿ブロック大会が、  
大阪府行田市にて行われ、ア  
イクオ・Y&G 21世紀戦略  
の経営と関係性をテーマとし  
ては、高橋正三氏(青森県青  
年部)の基調講演が行われ、  
その中で「国産大流通所を  
中心とした流通戦略」が  
テーマに、各単会代表者が  
意見を述べた。また、Y&G  
の「21世紀戦略」について  
は、高橋氏が「国産大流通  
所を軸とした流通戦略」を  
テーマに、各単会代表者が  
意見を述べた。

古代ロマンを  
満喫!

第13回国産大流通所青年部  
近畿ブロック大会が、9月10  
日(日) 秋晴れに、高石市  
で開会式を行いました。6日は  
記念ゴルフコンペ(6名名  
と、出雲市本庄式部村観光  
コースを行いました。  
7日は、会長会議を皮切りに  
記念式典を、島根県知事

中国ブロック●出雲大会

第13回国産大流通所青年部  
近畿ブロック大会が、9月10  
日(日) 秋晴れに、高石市  
で開会式を行いました。6日は  
記念ゴルフコンペ(6名名  
と、出雲市本庄式部村観光  
コースを行いました。  
7日は、会長会議を皮切りに  
記念式典を、島根県知事

鳳翔太鼓が  
鳴り響く!!



第13回国産大流通所青年部  
近畿ブロック大会が、9月10  
日(日) 秋晴れに、高石市  
で開会式を行いました。6日は  
記念ゴルフコンペ(6名名  
と、出雲市本庄式部村観光  
コースを行いました。  
7日は、会長会議を皮切りに  
記念式典を、島根県知事

四三ブロック●鶴岡大会

第13回国産大流通所青年部  
近畿ブロック大会が、9月10  
日(日) 秋晴れに、高石市  
で開会式を行いました。6日は  
記念ゴルフコンペ(6名名  
と、出雲市本庄式部村観光  
コースを行いました。  
7日は、会長会議を皮切りに  
記念式典を、島根県知事

第15回記念大会に  
1,000名が参加

九州ブロック●串間大会

第15回国産大流通所青年部  
九州ブロック大会が、9月10  
日(日) 秋晴れに、串間市  
で開会式を行いました。6日は  
記念ゴルフコンペ(6名名  
と、出雲市本庄式部村観光  
コースを行いました。  
7日は、会長会議を皮切りに  
記念式典を、島根県知事



### 「海の新幹線」で熱気

#### 釧路YEG/北海道ブロック

釧路YEGは昨年11月に設立されました。現在は会員63名で事業は月1回例会を中心に3つの委員会が活動しています。委員会はそれぞれ地域対策を担当する「らぶ・くしろ」委員会、産業政策を担当する「じことづくり」委員会、交流部門を担当する「なかまづくり」委員会とひらがなで統一。最近の主な活動は「テクノスーパーライナー」(TSL)を題材にしました。TSLは海上を時速100



0キロ以上で走行できる船で「海の新幹線」とも呼ばれ、海上高速輸送次世代の担い手として現在実用化に向けて開発が進んでいます。8月31日には実験船が釧路寄港という事で、まず事前に例会でTSLの勉強会を行い、実際の寄港の時動となるオープンセミナーを「TSL技術研究会」の中管理部長を講師にお招きして開催。会場は満杯で予想を上回る反響で「TSLの天気予報で」香気温が低い表示の釧路ですが、

### クルーズ船で「ユニバーシティ」

#### 能代YEG/東北ブロック

大和客船「サンシャインふじ」によるクルージングは、10月22日夕刻出港しました。昨年度は能代港が開港して20周年の節目であり、青年部が中心となり実行委員会を組織して、能代港を「み」と「祭」を実施。グレイドアップした企画を、本年度は客船の誘致を計画いたしました。

本年度の実行委員会は広域的に組織し、実行部隊はすべて青年部のメンバーが担当。委員長は青年部5周年の会長(現在は相談役)が努めました。

本クルージングには、能代市民を中心に約700名が参加しました。能代港に到着してからのイベントであり、本年度のみなど祭りの最後のイベントとして位置づけ、2泊3日の予定で、小樽へと能代港を出港。残念ながら

台風14号の北上で予定を半日繰り上げ、無事帰港しました。

サンシャインふじは、能代港1万5千トン岸壁に20日午前9時に接岸し、その後乗船人ふりを披露、外航船の入港風景にふれる機会が比較的多い市民ですが、客船の寄港は少なく、白を基調とした船姿で、独特な雰囲気を出し出しています。

国内最大級の客船チャーターは、能代港の役割等について関心を深めてもらうことが最大の狙いです。そして、参加者には船内でのシャスコサートなどを楽しんでもらいました。

### 連携軸でゴールラッシュ

#### 豊田YEG/東海ブロック



「豊田市にブルック」  
今年4月、愛知県は豊田市に、2002年ワールドカップの国内開催地を決定しました。

豊田YEGは、昨年9月豊田市内で、実に25万人の署名を集めた「6万人収容の大規模球場建設に際する署名」へ積極的に参加、球場をめぐり議論の中で、空洞化の荒波をいかに避けるかの豊田市は、どう歩むべきかについて、その一つの解答として「大規模球場」と「スポーツ文化による街づくり」の視点を取り組みを開始しました。

本年、10周年を迎える我々豊田YEGは、6月に平塚YEGを訪問、「ペルマール効果」を探究し、Jリーグを誘致しようとする小



山YEGと、Jリーグチーフマン川淵氏の出身地である高石YEGによる絶妙なYEG連携のアシストを受け、一般市民も対象とした記念講演の講師として「スポーツ文化の伝道師」Jリーグチーフマン川淵氏をお迎えし、産業文化交流都市」を宣言するこの街で新たな産業と文化の融合にむけて、記念すべき一歩を印す事業として参ります。全国YEGの皆様の熱い友情に感謝を致します。

### 震災被害の子供達を招いて

#### 京都YEG/近畿ブロック



阪神大震災が起こった直後から、京都YEGは、救授物資を届けることから活動を開始しました。

そして、被災地の小学生を京都に招待しようという「京都わんぱくクラブ」の計画を始めたのは、今年2月の中央研修会の受け入れ準備の真っ最中の頃でした。

京都府連と兵庫県連が主催、京都YEGが主管をするこのことになりましたが、いろいろな団体から予想以上の協力をいただきました。シューズ会社やお菓子会社から商品の提供を、バス会社から無料バスを、マンガ家の先生はサマーサントのキャラクターを描いてくれました。もちろん各地のYEGの支援も大きな支えとなりました。ホフンティアグループ、お医者さん

さん、本当にありがとうございました。7月下旬から8月中旬まで3班に分かれて実施されました。

第1班は西宮の子供達100人を、第2班は神戸の子供達100人を、京都府立南山城山自然の家、京都府立南山城山自然の家、第3班は淡路島の子供達70名を「京都府立青少年海洋センター」へ2泊3日で招きました。キャンプファイヤー、工作、クルージングなど楽しいひとときを過ごして頂きました。

この場をお借りしてご支援いただきましたYEGの同志に感謝を申し上げます。

### 特集 全国各地から……

# 研げ感性、広げよフィールド YEG連携時代

体と体をぶつけ合い、激しい議論に熱中し、全国でYEGが、地域の創造に取り組んでいます。北から、南からYEGの活動が届きました。震災や経済不況に「負けてたまるか!」というYEGの叫びです。

### 盛り上がる「となみ夢まつり」

#### 砺波YEG/北陸信越ブロック

砺波商工会議所青年部の祭りのコンセプトは、「市内の商業の発展の紹介、子供達に最後の夏休みを楽しくてもらう祭り」です。各コーナーを紹介します。

①体験コーナーでは右の彫刻・キールホルダー作り、さまざまなものを子供達が作りました。②フリーマーケットでは、たくさんの方が参加、自由に物販をしていただく。③展示コーナーではいろいろな動く車の展示・体験④ステージコーナーでは、クイズ大会や大声コンテストの飲食コーナー



では飲食青年部の協力による販売といつたさまざまなイベントが1日で行われる祭りです。

### デッカイ夢を気球に乗せて

#### 小山YEG/関東ブロック



小山YEGは、昨年の関東ブロック大会を機に、様々な地域振興事業に積極的に参加しています。中でも、近隣3商工会青年部、小山J.C.小山YEGの若手5団体を中心として行う「熱気球日本グランプリ」の開催に向けて、日夜議論を重ねています。

大会開催による商工業の振興、地元経済への波及効果をもたらすべく、小山の若手経営者は日々奮闘しています。

この大会の大きな意義は、全体の実行委員長が小山YEGメンバーから選出されたこと、形式だけでなく、

### 「お城まじり」に熱気

#### 丸亀YEG/四国ブロック

丸亀商工会議所青年部は、昭和59年に設立され、今年10周年を迎えたばかりの心身共に若い青年部です。

中にあるのは大きくはありませんが、全国に12城しかない本道天守閣や扇の勾配と呼ばれる美しい石垣のある築城400年を迎える丸亀城があります。

この丸亀城を中心に「丸亀お城まつり」が毎年5月

に3日間開催され、日本の太鼓祭り・大パレード・丸亀お城まつりに多数の人々が参加しています。当青年部は、お城まつりに「ワタワタランド」を設けて子供達に夢を育み、おもいきって遊べる場を提供しています。

また、地域住民と青年部会員の親睦と目標達成に、木型子氏など経済界、スポーツ界などより著名な講師



を招いて、毎年定期講演会を開催しています。

さて、当青年部は広報誌「会員強化・例会運営・事業推進・親睦交流」の5つの委員会によって運営されており、毎月各委員会を居酒屋などの「ぎょうけらんど」場所にて実施しているため、会員相互の親睦と連携も密であると感じております。

おいしいさめぎょうどん

### ジャンボふく鍋でアピール!

#### 下関YEG/中国ブロック

当青年部は、昭和55年11月7日、山口県下関市番町青年部として設立されました。

現在の現役会員数113名で運営されています。

本年度は、創立15周年を10月21日に控えて実行委員会を中心に奮闘しているところで、

そこで、当青年部のユニークな活動を紹介します。地域イベント等で、下関を代表するふく鍋を材料としたジャンボ鍋、名付けて「スーパージャンボふく鍋」を仕込み、市民の皆さんは米場者に振るまっています。春の5月には下関海峽まつり、冬の11月には下関さ

かな祭を恒例とし、また平成6年11月20日に山口県長門市で開催された「第14回豊かな海づくり大会」に参加、県内外の招待客4000名の方々にふく鍋で接待しました。その他、今年1月の阪神大震災で被害にあわれた皆さんに、少しでもお役に立てればと、有志が集まりふく鍋を多くの方に食べていただきました。

さて、「スーパージャンボ」と名がつくにはそれなりの大きさでなければお話しになりませんが、その鍋は、アルミ合金製で長さ50cm幅4m高さ50cm容量6m<sup>3</sup>一度に約2万食分が仕込まれます。鍋の形は勿論ふくの顔になっています。

昨年、新しく製造し直した2代目のふく鍋です。

我々青年部はこの「スーパージャンボふく鍋」が下関市のPRに役立てばと、これからの振興の活動として続けて行きます。



鹿兒島YEGでは独自の「郷中教育」の中で育まれてきた、鹿兒島の三大行事の伝統文化を守り正しく継承して行くこと、本年度「かこし」委員会を新たに設置し、岐阜市和幸組合の高校や関係者の協力を得ながら和幸50周年を機に、4年ぶりに復活させることが出来た。当日の夜は好天にも恵まれ、甲斐川の堤防には約2万人の観客が集まり、河井会長、坂副会長以下青年部会員も、鉢巻きにまきつけて、傘焼衆として参加し、傘と共に地域を愛する心も熱く燃やしていました。

### 「曾我どんの傘焼き」を復活させる

#### 鹿兒島YEG/九州ブロック

古来、鹿兒島薩摩藩では、曾我十郎・五郎兄弟の故事に習い、「忠義と孝行」を重んじています。明治以降よりも郷中教育と言われる市内の各学舎による道徳教育が行われ、その一行事として不用和傘を集め、戦後の一時期を除き、毎年「曾我どんの傘焼き」という伝統行事が行われてきました。

しかし、平成3年以降、会場となる「甲斐川」の増水や後継者不足などの諸事情により残念ながら中断されてきました。

鹿兒島YEGでは独自の「郷中教育」の中で育まれてきた、鹿兒島の三大行事の伝統文化を守り正しく継承して行くこと、本年度「かこし」委員会を新たに設置し、岐阜市和幸組合の高校や関係者の協力を得ながら和幸50周年を機に、4年ぶりに復活させることが出来た。当日の夜は好天にも恵まれ、甲斐川の堤防には約2万人の観客が集まり、河井会長、坂副会長以下青年部会員も、鉢巻きにまきつけて、傘焼衆として参加し、傘と共に地域を愛する心も熱く燃やしていました。





### こちらも連携時代

#### 「日本JC」と「商青連」のトップ会議が実現！



▲日本・日本JC会談(左)と比・商青連会談(右)

今までなかなか実現しなかった日本青年会議所(日本JC)会頭と全国商工会議所青年部連合会(YEG)会長のトップ会議が、8月2日実現しました。

会議では、率直な意見交換がされ、「それぞれの団体が一層協力し、枠にとられない柔軟な対応が必要だ」といった様々な意見がだされました。

また、今後とも、地域経済の発展のためにJCとYEGが交流・連携し、足りないところを補完しあえる体制づくりが望ましいことを確認しました。

### 鹿児島—青森間2、150kmを走破！ 日本縦断キャラバン交流を実施(鹿児島YEG)

本年7月、鹿児島・宮崎県民には待望の九州高速自動車道路「えびの一人吉」が開通しました。これによって鹿児島と宮崎間の交通が大幅に改善され、鹿児島YEGとの協力で鹿児島から高速道路を降りずに

鹿児島YEG(青森支部)と宮崎YEG(青森支部)の両支部が、鹿児島YEGの協力を得て、鹿児島から青森まで、2,150kmを走破しました。

この高速度道路が開通したおかげで、人、物、情報が多量に流入し、鹿児島YEGの発展に大きく貢献するものと期待されています。

鹿児島YEGの発展に大きく貢献するものと期待されています。また、鹿児島YEGの発展に大きく貢献するものと期待されています。

国土審議会から「四全総合的地点調査部会報告書」が発表され、「地域連携軸構想」が打ち出され、日本の国土の構造改革、活性化推進の構想が強く提言されました。平成7年度商青連活動方針の柱となっているYEG連携活動についてレポートします。



### 「紀伊半島内の経済連携を 考える会」が発足

紀伊半島が「地域連携軸構想」のモデル地区に指定されたことがきっかけになり、三宮、赤松、和歌山、串と大阪府南部のYEGの有志が集まり、「紀伊半島内の経済連携を考える会」がこのほど発足しました。

4府県からそれぞれ1名ずつ、計4名で構成され、発足式と懇話会が、8月25日(土)に和歌山県立総合文化センターで行われました。

紀伊半島は、海山の自然や歴史風土に恵まれた日本

第一に、時間の短縮は肉体的に、心情的に大きな変化をもたらします。

第二に、青森、北九州間の距離が短くなることで、ワールド・ハウス・センターといった観光施設と、鹿児島YEGの自然と宮崎のシーガイアとの連携が促進されます。

第三に、青森、北九州間の距離が短くなることで、鹿児島YEGの発展に大きく貢献するものと期待されています。



最後に、連携とは「お互いの間に溝をとりあって、モノゴトを実施すること」であり、交流とは「違った集合体のものが、お互いに入り交じること」であります。

